文京区認知症検診事業（脳の健康度測定）の新たな実施方法について

1 趣旨

昨年度の認知症施策検討専門部会において、認知症検診事業の今後の展開について意見を聴取した。その後、区において、今後の方向性を基に、令和7年度以降の新たな事業実施(案)をまとめたため、報告する。

2 今後の方向性

- 受診ニーズ（検診の受診機会や頻度）の拡大に対する対応
- 従事する人員や場所に捉われない、安定的な運営体制の構築

3 事業内容（案）

現行は、5歳ごとの節目検診として、当年度に55・60・65・70・75歳を迎える区民（約13,000人）を対象に、毎年9月に4日間、「会場での集団検診」として実施している。

今後は、以下の拡充を図って実施する。

(1) 認知症検診 **拡充** ※ 検診の対象者は従前と変更なし

検診のベースを「指定医療機関での個別検診」に移行する。

対象者に対し、認知機能測定ツール「のう KNOW」等によるセルフチェックを案内し、認知機能に不安のある方等は、一定の期間内に区内の指定医療機関で受診する。

指定医療機関では、認知機能検査や問診を踏まえ、助言や専門医療機関への受診勧奨、他の事業の紹介、高齢者あんしん相談センターによる個別フォローにつなぐ。

(2) 脳の健康度セルフチェック **新規**

当年度に55歳～75歳を迎える区民のうち、希望する方（検診対象者を除く）に対し、「のう KNOW」等のセルフチェックの機会を提供する。

セルフチェック希望者に対し、必要な資料一式を個別に郵送し、個々の状況を踏まえ、医療機関の受診や高齢者あんしん相談センター等での相談を紹介する。

(3) 脳の健康に関する普及啓発イベント **新規**

認知症に関する普及啓発、検診の受診勧奨、「脳の健康に良い生活ポイント」等を伝えるイベントを年2回程度、実施する。

当日は、栄養・運動・口腔ケア等の生活習慣改善のポイント講座や啓発ブース、「のう KNOW」サポートコーナーの設置等を行う。

※ 実施フロー(案)については別紙1のとおり

4 今後のスケジュール（予定）

引き続き、区内医師会、エーザイ株式会社等と協議や各種調整等を行うとともに、令和7年度当初予算要求及び契約締結等に向けた準備を進める。